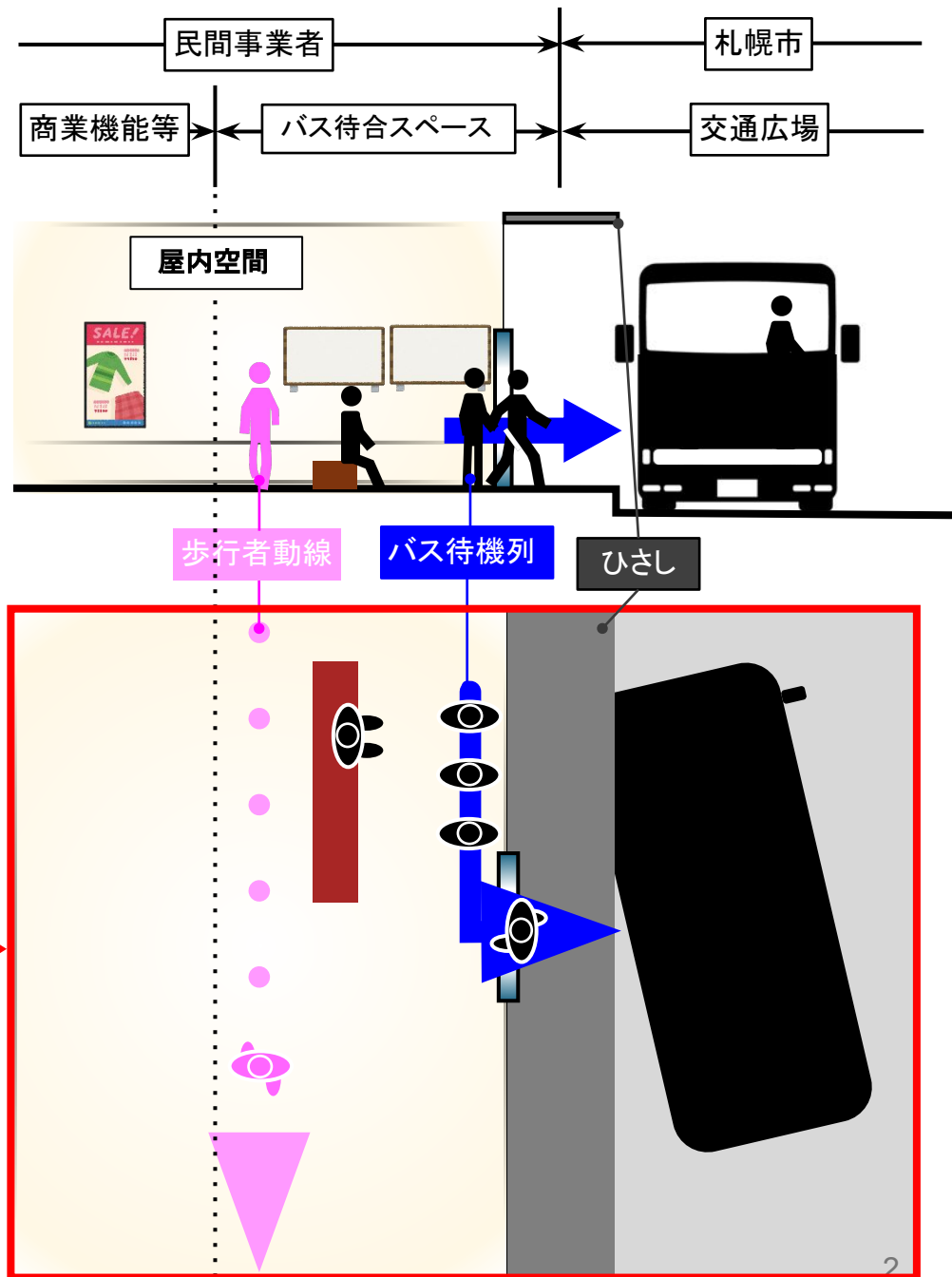
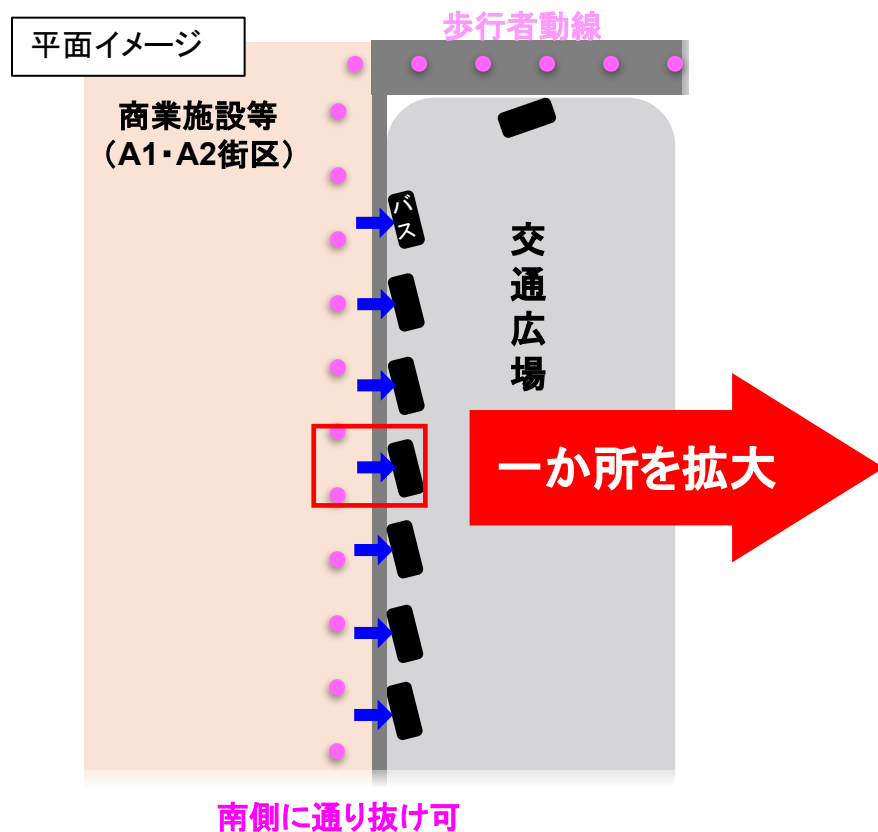


## 事業を通じて整備を図る公共的機能の具体的なイメージ

※令和8年2月時点における想定です。実際は、事業化検討協力者との対話を踏まえた整備・維持管理・運営等に関する条件を設定し、公募型プロポーザルにおける提案内容に基づいて整備内容が決まります。

# ア バス待合スペース

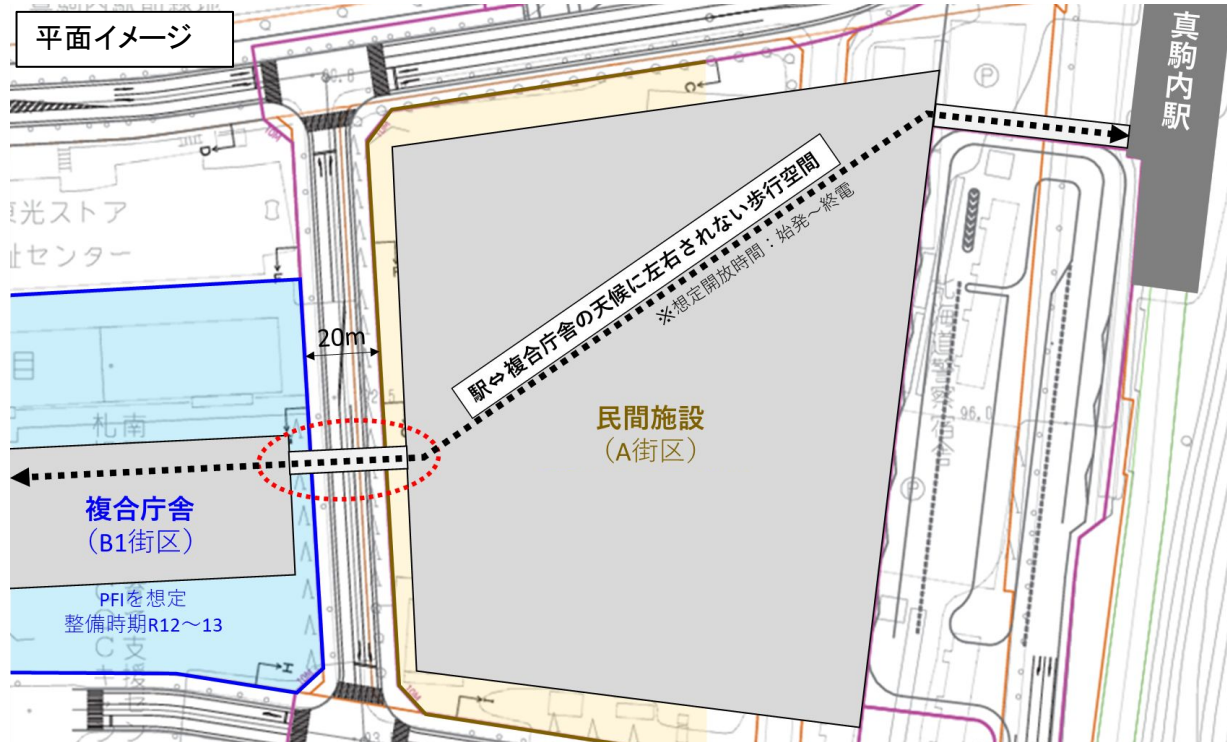
交通広場に面した場所に、民間施設と一体となった屋内型の待合スペースを整備・維持管理・運営する。



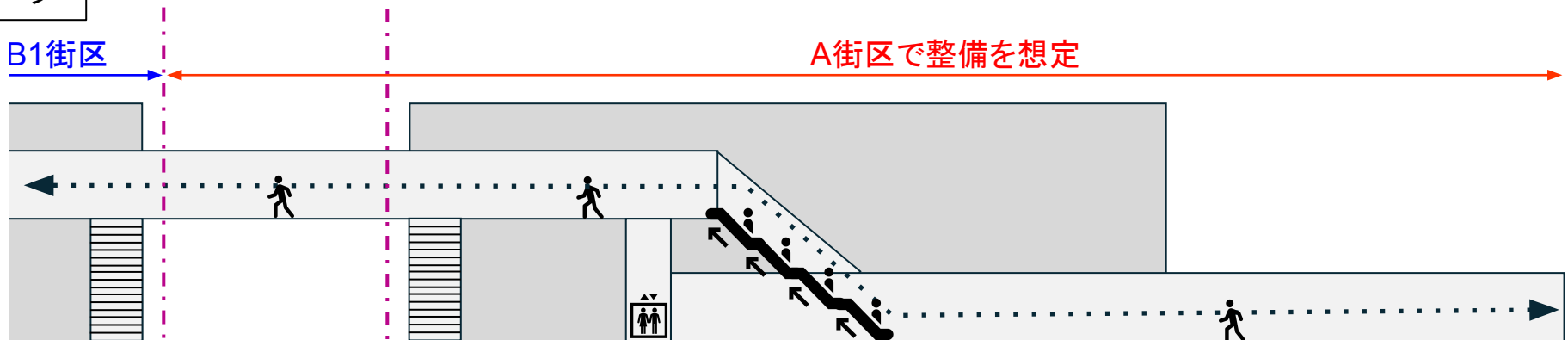
# イ 街区間連絡動線

真駒内駅～A街区～B1街区の間について、天候に左右されないバリアフリーな歩行者動線を整備する。

※具体的な施設形態やルートについては幅広く許容することを想定



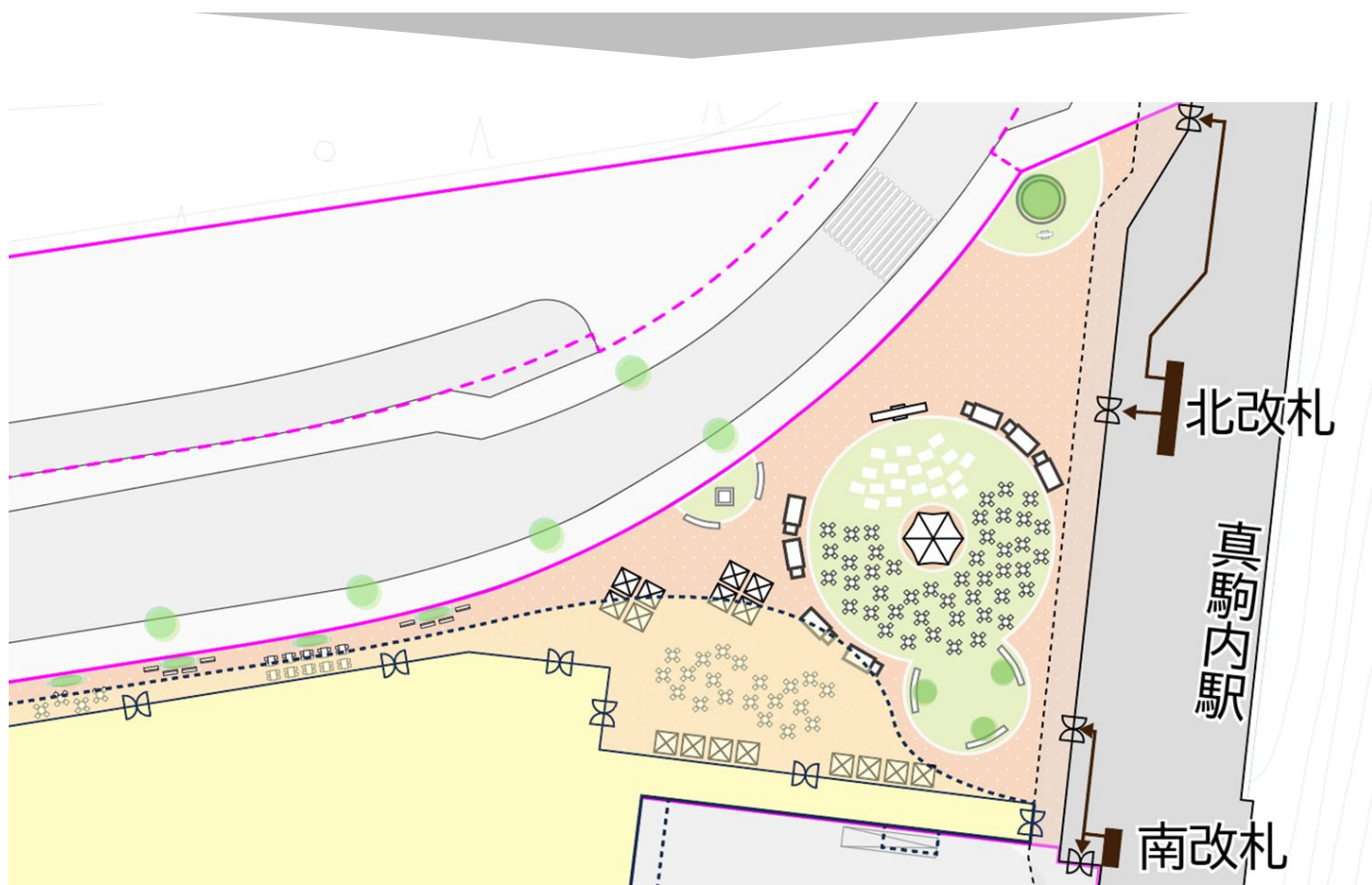
断面イメージ



※A街区とB1街区を結ぶ空中歩廊の維持管理については、B1街区側との役割分担を検討する。

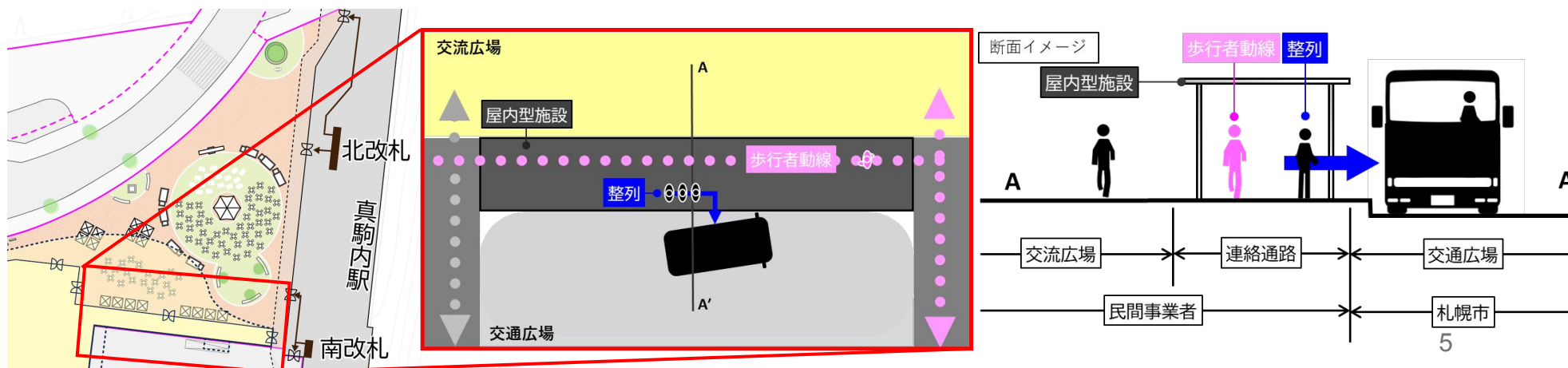
## ウ 交流広場

- ・真駒内駅の直近に、民間施設と連続的に広場を整備し、維持管理・運営する。
- ・整備内容については、「冬季も含めて通年で活用できる空間」の実現を目指し、屋根の整備や 一部を屋内空間化することも想定している。



## エ 連絡通路

交通広場に面した交流広場上に、「真駒内駅から民間施設までの歩行者動線」及び「バス待合スペース」を兼ねる連絡通路を整備・維持管理・運営する。



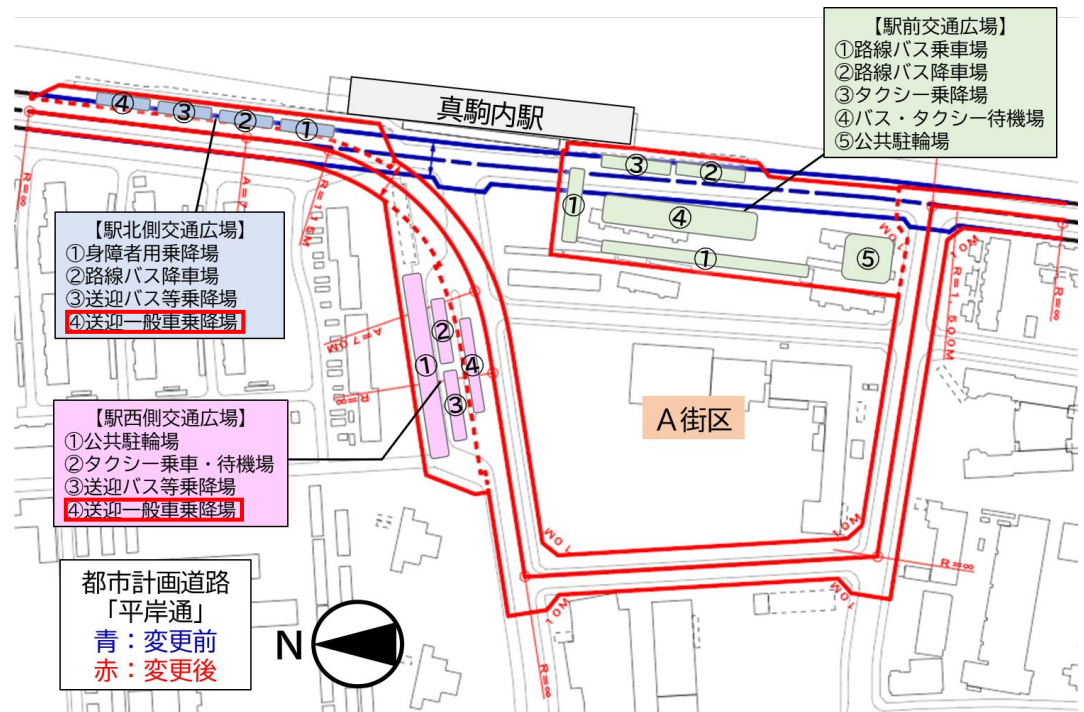


# オ 送迎車両の待機を円滑にする仕組み

- ・A街区を利用する者はもとより、真駒内駅への送迎を目的とする一般車両についても、円滑に待機や乗降を行うことができる仕組みを整備する。
- ・新たな施設整備ではなく、民間施設と一体となった幅広い仕組み(商業施設の車寄せを送迎車両にも開放する、商業施設の駐車場を短時間無料にする等)の整備を想定している。



## ◆交通広場の機能と配置(全体図)



A街区内と周辺道路で駅前の送迎車両需要に対応する。

# カ 駅前通りのにぎわいの創出とオープンスペースの確保

『にぎわいの軸』である駅前通りににぎわいを生むような機能(オープンカフェ等)を整備するとともに、駅前通りに沿ってオープンスペースを整備し、維持管理する。

